

2011.06.15 (水) 晴れ 16 (木) 晴れ	飯豊連峰 頼母木山(1,730m)	(1315) E/S 6名:男2名 女4名
行程 1日目 新津 5:00==奥胎内ヒュッテ 6:40 7:15~~足ノ松尾根登山口 8:10~ 姫子ノ峰 9:10~~イチジ峰 11:45 昼飯 12:30~~大石山 13:30~頼母木小屋 14:20 (飲料水作り) 15:00~~頼母木山 15:20~~頼母木小屋 15:50 (泊) 2日目 頼母木小屋 6:15~~足の松尾根登山口 11:50 昼飯 12:40==奥胎内ヒュッテ 12:50 入浴その他 14:40==新津 16:20		

大石山から頼母木小屋へ行く途中にハクサンイチゲが満開の情報が有り、6人で行く事で話がまとまり出掛けました。足の松尾根からの入山は未だ山開きが行われていない為ヒュッテから林道を歩かなければ行けません。7月2日が山開き、それ以後はヒュッテから乗り合いタクシーが1日に何回か出るそうです。最初は舗装された広い車道をダム工事現場へ行く橋の所まで行きその後は未舗装の林道を歩く。途中「旧日本軍の飛行機が墜落」した時の慰霊碑前を通り、水場を過ぎ橋を渡りその直ぐ先が足ノ松尾根登山口で自転車が2台有りました。ひと呼吸入れてから歩き出す。この登山道は去年「杵差岳」を日帰りして以来1年ぶり、今日は飯豊初めての人が数人いるのでバテ無いようにゆっくり又安全に気を付け登ります。



頼母木山は「飯豊入門の山」まずは此処から始めましょう。御用平のブナ林を過ぎるといきなりの急登が始まる。木の根につかまりながら登る。北五葉松の根につかまるので樹液が手袋に着きぺたぺたして気持ち悪い。1番目の岩場をおっかなびっくり渡り急登を木の根につかまり登ると休み場の姫子ノ峰、此処で一休み。此処の標柱熊さんが少しかじったそうで欠けて居ました。その後も木の根につかまり登りが続



き2番目の岩場も慎重に渡り、滝見場で休憩。その後英三ノ峰を越し、水場分岐で休憩した後、ブナ林の急登が始まる。登山道の横にツバメオモトの白い花が可憐に綺麗に咲いているのを見ると疲れも和らぐ。尾根に出て少し登ると今日の昼ご飯場所のイチジ峰に着く。此処で荷物が余りにも重すぎるので(15K位)今晚小屋で飲む予定のビールを飲んでしまう。冷えたビールは湯いた喉に美味しい。でも今晚小屋で飲むビールが有りません寂しい事でしょう。此処から大石山の直ぐ下の西ノ峰が見えるもまだ大分掛かりそう。左側が切れ落ちたザレ場を数

か所通り、所々に咲いている「シラネアオイ」を見ながら急な登山道を登り西ノ峰に着く。急な登りも此処まで、後は緩い登りを大石山迄行き休憩。此処から杵差岳への道と別れいよいよお待ちかねの「ハクサンイチゲ」の群生とご対面。頼母木小屋へ向かう登山道の右側一面ハクサンイチゲで真っ白、みんな大喜び。これを見ただけに辛い思いをしながら此処まで来ました。今までの辛さもいっぺんに吹っ飛ばす。後はのんびりとお花観賞、イチゲに混ざり「コイワカガミ」も群落をなしている。本当に綺麗、言う事無し。



その後も花を見ながら頼母木の小屋に着く。小屋には先客が3人、2人はイチゲを写真に撮りに来た人、もう一人は私が所属する新潟の山の会の人で知り合いのAさんでした。小屋には未だ水が引いて無く雪を溶かして飲料水を作らなければなりません。近くの雪渓の雪をビニール袋に入れ運びコッヘルに入れガスにかけ溶かし沸騰させ冷めるまでの時間「頼母木山」迄登って来る。その後夕飯を作り皆はビールで乾杯、



でも私は昼に飲んだので有りません。でも「菊水1番絞り」が有ったのでそれで乾杯する。山で飲むお酒は美味しい、食事が終わり日本海に沈む夕日を眺めた後1階と2階に分かれ寝ました。寝袋に入る時は感じなかったのですが夜中に足が冷たく靴下を履くも朝方非常に寒く目が覚める。山の朝は皆早い。すでに皆起きて外に居ました。日の出の前に「ヘリコプター」が飛んで来て門内小屋の方向へ飛び去る。朝の食事が終わりご来光を見た後に写真家の2

人が山を下り、続いてAさんも下りました。我々も下山の支度をしている所へ山小屋の関係者が1人登って来て今日小屋に水を引く工事をするそうで、又小屋に荷揚げをする為、さっきのヘリはその下見に飛んだそうです。いよいよ下山、又イチゲの群落が見られます。花を観ながら登山道を歩いているとヘリが登山道の広い所に着陸し



数人の男の人が降りて来ました。水を引く工事をする人達で胎内から5分の飛行で来たそうです。それを聞いた女性達、「エッ！5分で来たの」と羨ましがっていました。今日は「御西小屋、門内小屋、頼母木小屋」にヘリで荷揚げをするそうで何度となくヘリが飛んでいました。いよいよ飯豊も夏山シーズン到来、賑あう事でしょう。大石山に着き杵差岳へは行かず後はただひたすら足の松尾根を下りるだけ。木の根っ子だらけの急な登山道を下りるのは登りよりはるかに厳しい。木の根につまづかない様に、又膝に負担がかからない様に時間を掛けて慎重に下りる。姫子ノ峰で大休止、此处まで来ればもう少し頑張ればよい。最後の岩場を越し、松の根っこだらけの急の下りも無事に下り御用平のブナ林を過ぎ登山口に着く。此处で昼ご飯を食べる。その後1時間近く林道を歩かなければ成らないかと思いながら休んでいると「ラッキー」な事にヒュッテ-の人が仕事で来て帰りの車に乗せて貰う。そのお礼と言う訳では無いですがヒュッテ-で入浴し、コーヒーなどを飲みゆっくり休憩の後帰りました。今回の山旅、ハクサンイチゲの群落を観られ、又、飯豊初めての人は花も多く天気も良く眺望も良く楽しかったと思えますがやはり「飯豊は飯豊」厳しい所もあった事と思えます。(おわり)

